

新規事業の成長を支えるRuby

自己紹介

- ・ 黒瀧 悠太 (Yuta Kurotaki)
- ・ @kurotaky
- ・ 神奈川県横浜市出身





kurotaky

いいね！ 25件

1週間前

kurotaky 会社から頂いた封筒にこくりゅうさんて書かれていた

黒龍



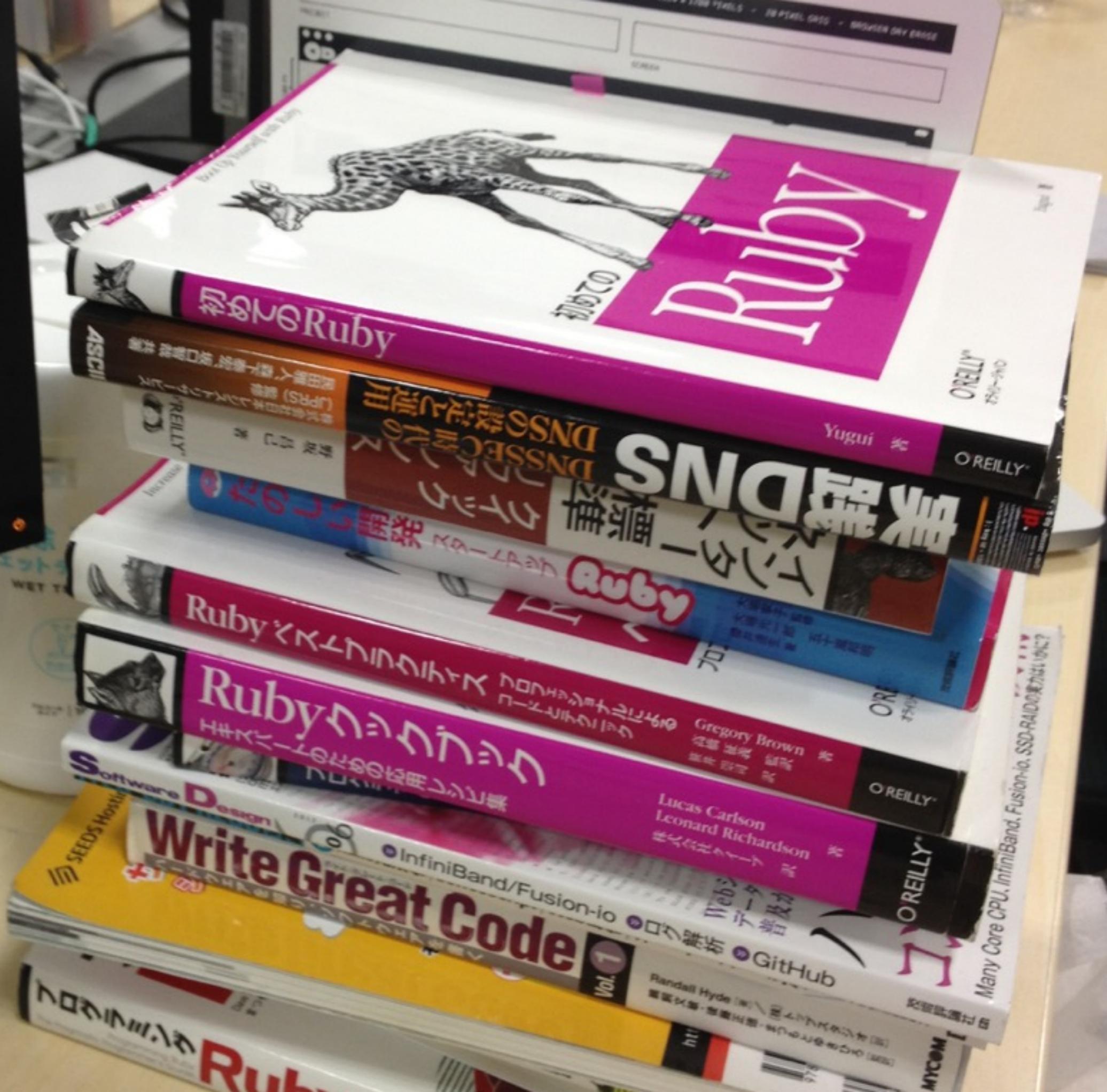
コメントを追加...



黒龍と間違われやすい

はじめてのRuby

- ・ 2012年5月くらいからRubyを書き始める
- ・ Ruby 1.9.3-p194



Ruby
O'REILLY
Yugu
初級 Ruby

実務 DNS
DNSSEC 時代の
DNS 設定と運用
Yugu
O'REILLY

Ruby 入門
No Starch Press
Ruby

Ruby の基礎から
応用まで
Gregory Brown
Lucas Carlson
Leonard Richardson
O'REILLY

Software Design
Write Great Code
Vol. 1
Randall Hyde
No Starch Press
GitHub
InfiniBand/Fusion-io

Ruby
No Starch Press

Many Core CPU, InfiniBand, Fusion-io, SSD-Raid の威力は？

私とRubyコミュニティ

- ・ Rails Girls Tokyo 4th コーチ
- ・ 去年くらいから Yokohama.rb に参加したり
- ・ るびまの編集担当

Rubyist Magazine 0052 号

『るびま』は、Ruby に関する技術記事はもちろんのこと、Rubyist へのインタビューやエッセイ、その他をお届け

目次

▶ 巻頭言

書いた人：るびま編集長 高橋征義

編集長からの 0052 号発行の挨拶です。(難易度：高)

▶ Ruby の歩き方

Ruby をはじめるにあたって必要な情報をご紹介します。本稿は Rubyist Magazine 常設記事です。(難易度：低)

▶ Rubyist Hotlinks 【第 35 回】 島田浩二さん

Rubyist へのインタビュー企画。今回は島田浩二さんにお話を伺いました。(難易度：北海道)

▶ esa.io の作り方

書いた人：fukayatsu さん

esa.io の裏側の紹介記事です。(難易度：\\(°Θ°)/)

▶ RubyConf Taiwan 2015 レポート

検索

0052 号 (2015-12)

巻頭言

Rubyist Hotlinks

esa.ioの作り方

RubyConf Taiwan 2015

松江Ruby会議07

アクセスランキング

フィードバック

Rubyの歩き方

RubyEventCheck

編集後記

バックナンバー

各号目次

分野別目次

0051号 (2015-09)

0050号 (2015-05)

0049号 (2014-12)

0048号 (2014-09)

0047号 (2014-06)

0046号 (2014-04)

0045号 (2013-12)

0044号 (2013-09)

0043号 (2013-07)

0042号 (2013-05)

2.0.0 Special (En)

0041号 (2013-02)

0040号 (2012-11)

0039号 (2012-09)

Ruby Business Users Conference 2016 レポート

- ・ 今回のイベントのレポート書いてみませんか？
- ・ 書いてみたい方、るびまの事を聞きたい方は後でお声がけください：)

私とペパボ

- ・ 2012年に新卒入社
- ・ 研修でRuby on Rails Tutorial



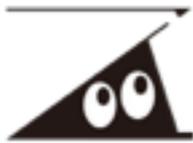
テレビCM
公開中!

<https://minne.com/>

ペパボとRuby

minne



SU  URI

PEPABO
WiMAX by **GMO** ペパボ

ペパボテックブログ

ペパボにとってのRubyとは？

2015-12-21

pepabo

ruby



最新の記事

社内ディレクター勉強会について

「情シス」の新しいカタチ =
Corporate Productivity
Engineering(CPE)

ペパボのスタッフが寄稿した
「Webサービス開発徹底攻略
Vol.2」が刊行されます

「UIデザインは誰のもの？」につ
いて話したこと

注目トピック

pepabo

開発プロセス

ruby

登壇レポート

<http://tech.pepabo.com/2015/12/21/what-ruby-is-for-pepabo/>

PEPABO WiMAXとRuby



2016年02月22日 【2/29まで】特別価格となるタイムセール実施中!



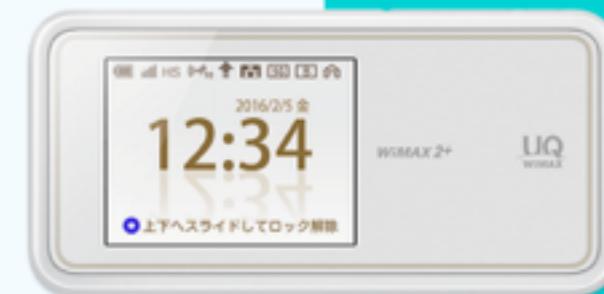
家でも外でもネットにつながるWi-Fiルーター

PEPABO WiMAX

by GMOペパボ

月額 **3,609**円 (税抜)

お申し込みはこちら



<https://wimax.pepabo.com/>

PEPABO WiMAX

- ・ 2014年11月リリース
- ・ ペパボのサービスの割引特典
- ・ ペパボのユーザー専用の月額料金割引

PEPABO WiMAX

- Ruby 2.3.0
- Rails 4.2.5.1

PEPABO WiMAXチーム

- ・ 5人のチーム
- ・ 開発担当 2人
 - ・ デザイナー 1人
 - ・ エンジニア 1人

周りには変化し続けている



変化が求められる

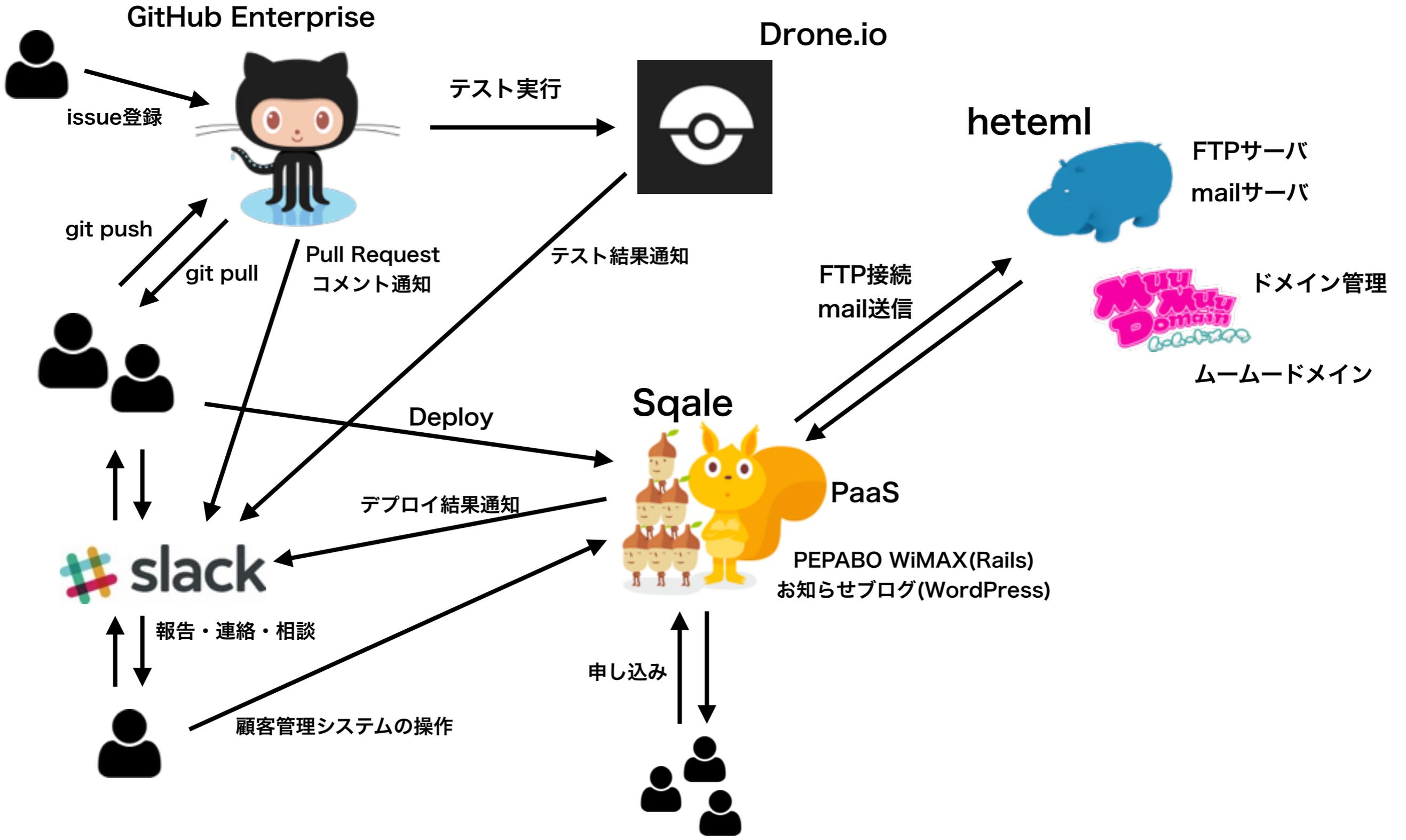
- ・ ○○のための施策
- ・ 外部連携しているシステムの仕様変更
- ・ 言語やライブラリのバージョンアップ
- ・ 国の法律が変わる

**限られたリソースで
前に進むためには**



**変化に対応しながら
成長していく仕組みが必要**





開発の流れ

- ・ Gitでブランチを切って機能開発
- ・ Pull Requestでコードレビュー
- ・ CIでテストが通ることを確認してリリース
- ・ デザイナーもエンジニアも毎日デプロイ

こまめにリリース

- ・ こまめにテストを書いて、こまめにリリース
- ・ 不確定要素が多いので少しずつ進んでいく
- ・ コードを書いて問題を解決する

**職種の領域を横断して
変化に対応出来るチーム**



デザイナー

- ・ Pull Request, デプロイまで全部やる
- ・ Rubyのコードを書ける
- ・ 申し込みページのテスト修正など

カスタマーサポート

- ・ GitHub Enterpriseなどのツールを活用
- ・ 仕様に関して開発担当と一緒に考えられる
- ・ メルマガ原稿などをPull Requestベースで依頼

**エンジニアとして
事業の差別化を目指す**



挑戦しやすい環境を整備

- ・ ツールが整備されている
- ・ テストが書かれている
- ・ 新しくきた人でもすぐに開発出来る
- ・ 失敗してもやり直せる

サービスの運用改善

- ・ 外部システムと連携の効率化
- ・ APIが無いシステムとの連携
- ・ FTPでCSVやExcelを受け渡しする運用
- ・ 文字コードの問題

サービスの運用改善

- ・ データ連携が難しいところは、逆にビジネスとしてチャンスがあるはず…
- ・ コードを書いて解決していく
 - ・ テキスト処理、API作成、エラーハンドリング
- ・ エンジニアとして成長して運用を効率化
- ・ 契約数を増やすための施策を素早く行なう



<< [我々はなぜ会社説明会で歌い、そして踊るのか](#) | [main](#) | [かつてのフロンティア](#) >>

[個人の成長のための機会](#)

| 2016.02.02 Tuesday | 14:30

+♥  0

ペパボでは毎年年末に全スタッフが参加の年末総会を行っており、その会において来期の方針について共有しています。昨年末の会においては、2016年を『スタッフ全員が成長意欲を高め有機的成長を加速させる一年』にしますと、私から方針を発表しまし

 PR



<http://pepabo-ceo.jugem.jp/?eid=34>

**Rubyを選択して
よかったこと**





<http://www.amazon.co.jp/dp/4797386290>

たのしい開発

- ・ A Programmer's Best Friend
- ・ 自分の仕事をRubyに任せやすい
- ・ 人間にストレスをあまり与えない

開発者



ユーザー

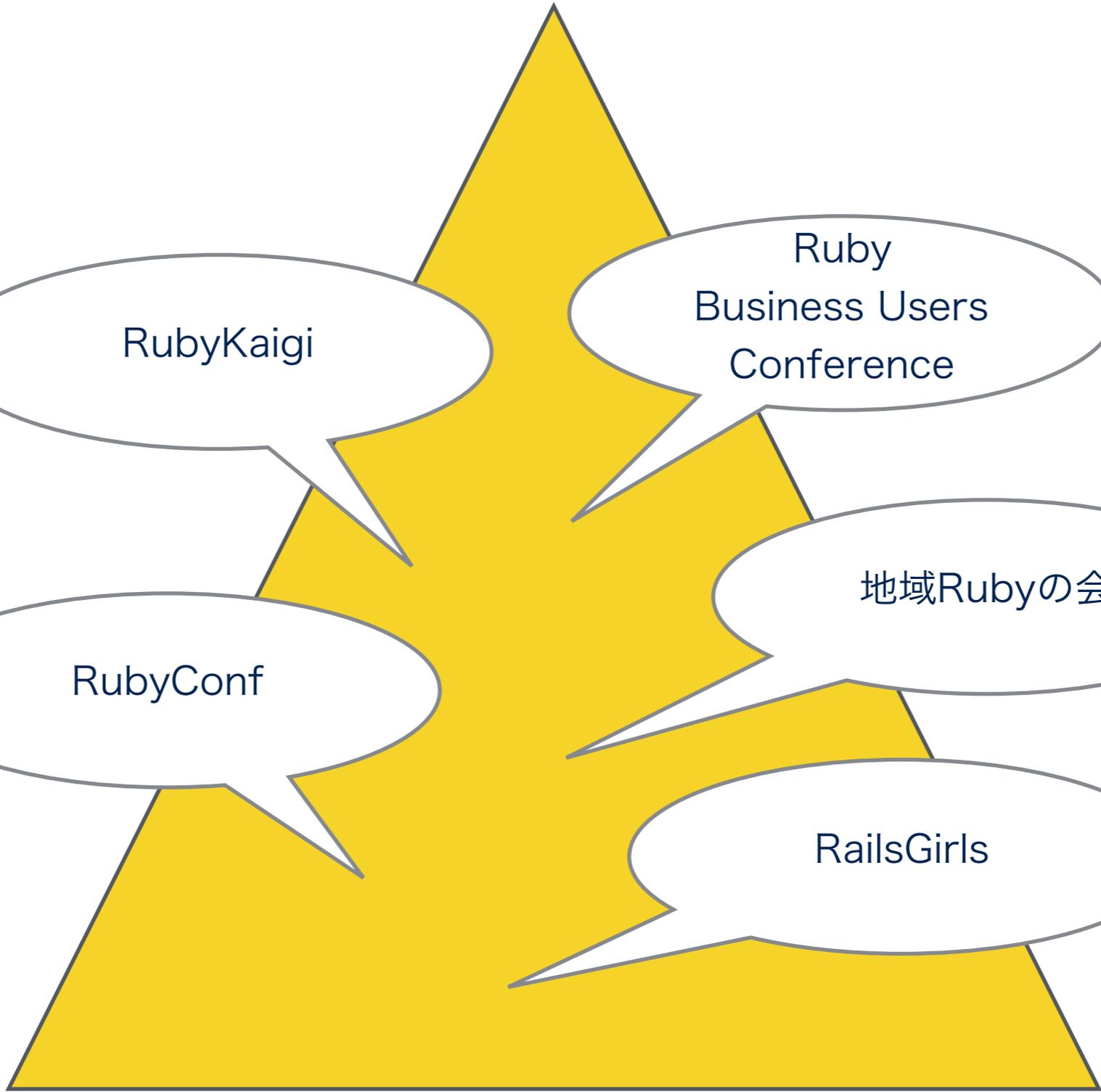
RubyKaigi

Ruby
Business Users
Conference

RubyConf

地域Rubyの会

RailsGirls



エコシステム

- ・ Rubyのエコシステムは水平・垂直方向に活発
- ・ 社内においても活発

挑戦できる

- ・ 使っている人の真似をすればとりあえず動く
- ・ テストで動作を担保する
- ・ Rubyの簡潔さ・読みやすさ
- ・ CoC(Convention over Configuration)

これからも
楽しく挑戦していきたい



もっとおもしろくできる



Thank You!!!

